



森ボラ 通信

第 39 号 2005 年 8 月 20 日発行
北海道森林ボランティア協会
札幌市中央区南 2 条西 2 丁目金市館ビル 8F

Tel:241-8155 Fax:241-8308

E-mail:h-shinrin-v@indigo.plala.or.jp

URL:<http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>

■トピックス

◆「羊蹄山」登山日記◆

登山前日午後、羊蹄山麓キャンプ場に集合した森ボラ登山メンバーは男 6 人女 2 人の全員 8 人で、最年長 70 歳、最年少 60 歳、平均年齢 64 歳の熟年達です。

【7 月 19 日】

4:00 起床、薄曇り、テント収納、食料をコンビニ調達し、おにぎりの朝食。

5:30 真狩コース登山口を元気よく出発する。1 合目～2 合目はトドマツ 50 年生の造林地の緩斜面、大きなウダの群生を見ながらやがてダケカンバ 2 次林に入りキハダも目立つ、又クロエゾマツ、センの大径木も見られた。5:50 最初の休息をとる。



7:00 3 合目付近、晴天、眼下に真狩村、遠方に恵庭岳、樽前山を望み 4 合目にかけて洞爺湖と昭和南山が見え始め、段々鮮明に見えてくる。ニセコ市街地もきれいに見える。

8:00 5 合目付近、晴天、ダケカンバ、ミネイタヤ、ナナカマドほか亜高木地帯を進む。

8:30 6 合目手前、視界が開けて遠方に噴火湾と駒ヶ岳を望む。6 合目から歩道の傾斜 20 度以上の急斜面、さらに段差も多く息が切れる。ここまで 20 分歩行の 5 分休息のペースで来たが、段々樹木も低木に変わり始めて日照の暑さも強くなり、飲み水が頻繁となり甘味類の間食も度々摂取する。

9:20 8 合目付近、晴天、延々と続いた急斜面の低木地帯を突破するとハイマツが現れガレ場に至る。頂上に連なる斜線の高山地帯を横切る歩道は水平に近くて楽であり、周辺にウコンウツギやイワブクロが咲いている。やがて 9 合目手前左側遠くに避難小屋が見える、小屋近くにまだ残雪があった。

10:30 晴天、遂に外輪山頂上真狩分岐点に到達する。眼下に見るスリ鉢状の火口父釜(直径 700m、父釜周囲 2300m、最深 200m)の底に小沼と残雪があり、その形状とコントラストは見応えがある。この地点は外輪山頂上だが山頂は対岸にあり、山中リーダーは外輪左回りの近道だが険しい岩尾根コースを避け、右回りの遠距離だが歩き易いコースを選んだ。旧山小屋跡地と比羅夫分岐点通過時快晴の中突然ガスが上昇しニセコアンヌプリが望めず。父釜と母釜の間は平坦緩斜面のお花畑、キバナシャクナゲ、イソツツジ、エゾノツガザクラほか多種の高山植物が多彩に咲いている。風もなく晴天温暖で、花畑で昼寝したい程の気持ち良さ。まだ山頂に至らぬが外輪途中 11:00 に昼食、内側に火口外側に京極町周辺を見ながら空腹を満たす、出発から 5 時間半たった。

11:55 待望の山頂(1898m)に立つ、全員元気で喜び一杯に感動する。

12:10 下山開始、1 時間後外輪が曇り始める。下りは心肺が楽だが膝がわらい始め、大腿筋が痛み始める、特に 8 合目から 6 合目の急斜面は滑落の注意を要し、皆、苦痛に耐えて慎重に下りてきた。息切れは休めば回復するが大腿疲労は回復しない。

16:30 全員無事に登山口に下山できた。夫々安着を労いあう。朝 5 時半に出発してから往復丁度 11 時間を要した。(計画通りの所要時間である)

■終わりに…この登山編制で常に山中リーダーが最後尾にいて指示とフォローが保たれ、疲れても安心して頑張れたこと、また荒船サブリーダーの先導も後続に気を配り頼りになった。結果としてメンバーの連携が良かったことが計画通り実行できた要因と思う。それから女性二人も頑張り強かったことも付け加えておく。今回の登山は晴天と高山植物最盛期に恵まれて、充分満悦することができた。(加治・記)

◆積丹町訪問◆

7月28日、幹事を中心に総勢12名が積丹町を訪問しました。この訪問の主旨は、かつて牧場であった町有地97haの活用法を探るもので、町からの要請に応えたものです。町長はじめ町の幹部職員勢揃いの対応で、我々に寄せる熱い期待が伺われました。視察は①積丹牧場跡地・公園造林地②野塚野営場③ふれあいの森積丹・サンクチュアリーセンター・散策路④神威岬の行程で行われ、意見交換の後解散となりました。

町では組織改変されたばかりのフレッシュな顔ぶれで、町に対する誇りと町の活性化へのやる気が覗われましたが、同時に具体的な方策を探りあぐねている様子が伝わってきました。視察地の中には、すぐにも手を入れたい場所が幾つかありましたが、会としては町民を巻き込んでの「町興し事業」に協力する形で以下のようなメニューを町に提示します。

- Ⅰ 牧場の森林公園整備
- Ⅰ 野塚海岸の清掃
- Ⅰ 余別川の歩道整備
- Ⅰ 町有林のメンテナンス

積丹の自然の素晴らしさを町民に再認識してもらうこと、町民に誇りを持ってもらうこと、そしてそれが子供たちに伝わることを願いつつお手伝いできればと思っています。(柴田記)



◆藻岩山麓に新活動地決定◆



野幌での整地もあらかた先が見え、新たな活動場所提供のアプローチに応える形で国有林側より藻岩山麓に2ヶ所の候補地提示がありました。8月3日、石狩森林管理署に現地を案内していただきました。

現場は藻岩の中腹6.94haと頂上直下2.16haのトドマツ人工造林地。まず中腹の現場よりとりかかります。斜面上方は台風18号で風が走った跡が生々しく残り、斜面下方は植林後40年以上手が入っておらず真暗な状態です。倒木処理と間伐の作業となりますが、急斜面

故作業は熟練のチーム編成で慎重を期して行われるべきものと思われました。尾根を挟んで逆斜面は台風の影響もなく広葉樹の天然発生も見られ、少し手を加えれば気持ちの良い林になりそうです。手鋸での間伐も可能です。こちらは候補地に入っておりませんでした。その場で申し入れたところ「お任せします」との即答をいただきました。面積は10ha程あります。

現場は付近の住民の散策路にもなっており、斜面はスキー場からも眺められるとのこと。札幌の象徴藻岩山でアクセスも良く成果が見える現場です。お昼には最高の眺望が待っています。(柴田記)

◆驚異！ニセアカシアの萌芽◆

8月17日、西野を久しぶりに訪れた面々は驚きの声を上げました。ニセアカシアの旺盛な繁殖力は承知していたものの、風倒木現場での繁殖振りを目の当たりにしたことはそうそうありません。長いもので3メートルを超え、太さは親指ほど。2センチにも伸びた棘は既に堅くなり、皮手袋無しには作業は出来ません。それでも、幹はポキポキと折れやすく、脆さも感じられました。また、日影では極端に成長が遅く、3年ほど格闘すれば勝てそうな感触もありました。嬉しいのは郷土樹種の稚樹の身長も大分伸びていたことです。稚樹の成長を促がすためにも、あと2-3回のアカシア萌芽切りの作業に皆さんご協力ください。

◆ニトリ北海道応援基金の助成金授与式◆

8月6日(土)京王プラザホテルでの授与式に酒井代表幹事と高野の2名が出席しました。517件にも及ぶ応募の中から43団体が選ばれたとのこと、10倍強の競争だったわけです。各団体代表者が短く自己紹介と謝意を表しましたが、直接謝礼を伝えることもできました。北海道応援という基金の理念を熱く語られる似鳥社長の人柄が最後に趣味のカラオケの熱唱にも込められていて、感動いたしました。

8/27の神宮で製材機がデビューします。神宮からは野外音楽音楽堂用を主にベンチの制作を依頼されています。早速現場で丸太を眺めながらベンチのデザインを考えましょう。斬新なアイデアを期待しています。

■今月の幹事会

1. 積丹町の件
今後の調整。製材機の活用。冬期作業として観光案内看板作成。
2. 藻岩国有林
トドマツ人工林、倒木整理と間伐。協定の締結。9月から日程に入れる。
3. アルバイトの件
横浜植木／手稲橋梁建設支障木伐採 1100本、9000ha。参加11名。今週中に終了。最終段階の修景緑化工事をめざす。その他登山ルート of 整備も視野に入れる。
4. ニトリ助成金授与式
酒井、高野で参加。517件の内、採用43件。
5. 北大エルムの森
アークスグループの寄附事業につき、秋植え工事にむけて調整をする。有償事業。
6. 野幌国有林
植苗準備。
7. 北海道神宮
境内林は一応の整理終了。第二苗圃造成と育苗開始。ニトリ製材機の設置と活用。水槽確保。
8. その他
有明作業9月初旬に設定。キノコ料理講習会9月16日(金)―17日。
出席幹事：加治、芝、柴田、杉本、高野、西野、棟方

■お知らせ

■キノコ料理講習会

お盆を過ぎて急に、残暑の中にも秋の気配が色濃く感じられるようになりました。しかし我が会員は感傷に浸るよりも、キノコの季節の到来に浮き足立っているのではないのでしょうか。前号の予告から多少日程がずれましたが、キノコ料理講習会を下記の通り開催します。湯澤さんが料理の技を惜しみなく伝授してくれます。会場はアクセスの良い定山溪。自然の村は自然に溶け込んだ心地良い施設です。※自然の村の地図を参加申込書裏面に掲載します。

【開催日】9/16(金)～9/17(土)

【会費】6,000円

【持ち物】箸・皿・コップ・必要な方は寝具(簡易マット・毛布はコテージについています)

【スケジュール】

9/16(金)	9/17(土)
9:30 地下鉄福住駅 ・澄川チーム・森林総研チームに分かれてキノコ採取 ・昼食は持参で各チームごとにとります	8:00 朝食づくり ・ダッチオープンでパンとラタテウイユをつくりま す
13:00 自然の村駐車場 ・リヤカーで荷物を搬入します	9:30 フリー ・豊平溪ダムまでの散策や木工・グランドゴルフなど
14:00 豊平溪温泉入浴※入湯料各自	11:00 ピザ窯体験 ・生地は自然の村にあります。キノコのトッピングに 挑戦しますか?
15:00 料理講習会開始	12:00 解散
17:00 食事&宴会	

■アートマーケット出展

木工作品のフリーマーケット出店が以下の通り決まりました。今回出店する**芸森アートマーケット**はヨーロッパの掘り出し物市のような雰囲気、一般ショップではなかなか出会えない市民アーティストの作品発表と直接販売の場となっており、芸術の森の夏のイベントとして毎年行われているものです。自分の感性にピタリと合うオリジナル作品がきっと見つかります。普段木工に参加されていない会員も是非足を運んでみてください。

9月11日（日） 午前10：00～午後4：00まで

※森ボラの出展区画は「**芸術の森美術館**」前の芝生広場です。

※雨天の場合は中止となります。開催の有無は芸術の森 Tel：592-5111 にお問い合わせください。

※芸術の森までは地下鉄真駒内駅から中央バスが約15分間隔で運行されています。

■予告：紅葉の富良野岳

冒頭お花畑の面々を見て山に登りたくなっただ方が多いのではないのでしょうか。9月下旬に紅葉の美しい山を選んで登山を企画する予定です。今のところ富良野岳を考えています。詳細は次号に。

■活動履歴

《活動日》	《活動場所》	《参加人数》	《活動内容》
8/18	北海道神宮	12	第二苗圃造成
8/17	西野第二	7	萌芽整枝
8/15	杉本邸	8	木工
8/12	北海道神宮	6	第二苗圃造成、第一苗圃メンテ
8/11	北海道神宮	6	第二苗圃造成
8/10	野幌森林公園	5	植樹準備
7/29	北海道神宮	16	第二苗圃造成
7/27	有明第二	降雨中止	
7/26	澄川	16	林内掃除(ゴミ出し)、キノコメンテ
7/25	杉本邸	16	木工
7/22	野幌森林公園	10	畝間手入れ
7/21	北海道神宮	12	第二苗圃造成
【今月のリンゴ園】7/21・22・23・28・29・30（参加人数9・1・10・1・1・9）			

■コラム

松村清松さん、山崎重吉さん。戦中中国で400万本の植樹

文芸春秋特別版8月臨時増刊号に「昭和を憶い、日本を想う」と題した阿川弘之、半藤一利、養老孟司の3氏の「特別鼎談」の中で、「木を植え続けた戦車隊長」の話がでております(27頁)。中国北部戦線で機動歩兵第三連隊長の吉松喜三氏の率いる連隊が昭和15年から21年までの6年間、遠征の合間に400万本もの植樹を行った。戦後に中国政府から感謝状が送られてきたとの話です。この連隊にわが松村さん、山崎さんの両氏が所属していたとのことです。いずれ詳しい話をご両人から伺いたいと思います。